



ずーしーほっきーと

# 探してみるべや



おすすめのスポットや、ぜひ知ってほしい北斗市の歴史や文化を紹介するよ！紹介する内容のイラストを表面の地図から探してみてね！



## きじひき高原パノラマ展望台



標高560mのパノラマ展望台からは、函館山や津軽海峡、大沼、駒ヶ岳など、雄大な景色を一望できる。展望台までの道の途中には車で走ると音楽が流れる「メロディロード」があり、北斗市ゆかりの曲が楽しめる。なお、展望台に向かう道は4月中頃から10月末まで通行可能。

何の曲が流れるかは、来てからの楽しみホキ



## 新函館北斗駅 (北斗市観光交流センター)



平成28年(2016年)3月26日に北海道の玄関口として誕生した新函館北斗駅。駅に併設している北斗市観光交流センターにはアンテナショップ「ほっとマルシェおがー」があり、特産品などの魅力を発信している。また、隣接する別館「ショッピング&フードエリア ほっくる」ではお土産の購入や食事などを楽しむことができる。



## 三股口の戦い



箱館戦争(戊辰戦争)で、土方歳三隊(榎本軍約300名)と新政府軍約600名が大激戦の末、土方隊が数で勝る新政府軍を退けた。しかし、明治2年(1872年)4月の戦いにおいて矢不來台場の大島圭介隊(榎本軍約500名)が七重浜へと退却したため、土方隊も五稜郭へと撤退を余儀なくされた。



## 八郎沼公園



自然にあふれており、春になると公園内に桜が咲き、ゆっくりにお花見ができる桜の名所。桜以外にも水芭蕉やツツジ、スイレンといった四季折々の花を楽しむことができる。また、パークゴルフ場や体験農場なども隣接し、憩いの場として多くの人々が訪れる。4月中旬から11月上旬まで開園。



## 法亀寺シダレ桜



北斗市を代表する桜の名所のひとつであり、樹齢およそ300年の北海道内でも最大級のシダレ桜。木の高さは約12メートルで、大きく広がった勇壮な枝ぶり、垂れ下がった枝いっばいに桜の花が咲き誇る。5月の桜の見頃の時期には近隣はもとより、遠方からも多くの人々が花見に訪れる名スポット。



## 北海道水田発祥の地及び記念碑



地誌「松前志」の記録に基づき昭和24年(1949年)に建立。碑には「亀田郡大野村字文月押上(現北斗市村内)のこの地に、元禄五年(1692年)農民作右衛門なる者南部の野田村から移って、人々の定着は米にあるとして地を拓し、自然水により四百五十坪を開田し、産米十俵を収穫した。」と刻まれている。

北斗市指定文化財ホキ



## 北斗桜回廊



法亀寺シダレ桜をはじめ、国指定史跡松前藩戸切地陣屋跡の桜トンネルや大野川沿いの桜並木、清川千本桜をつなぐ道道96号沿いの桜のドライブコース。期間中(4月下旬~5月上旬)は、法亀寺、松前藩戸切地陣屋、大野川沿いの3会場にて、ライトアップが行われ、春の陽射しに映える桜とは一味違った幻想的な夜桜を楽しめる。



## セメント工場と棧橋、義朗鉱山



東日本最大規模のセメント工場。義朗鉱山から採掘された石灰石(セメントの主原料)はベルトコンベアで工場へ供給されている。製造されたセメントは海上棧橋を通じてセメント運搬船まで運ばれ、国内のみならず、海外へも届けられている。

日本一長い棧橋ホキ



## 道南いさりび鉄道



五稜郭駅から木古内駅を結ぶローカル線。JR江差線を引き継いでおり、地元の通勤・通学の足として欠かせない。ちなみに看板車両である「ながまれ号」の「ながまれ」とは道南地域の懐かしい方言で「ゆっくりして」「のんびりして」という意味。四季をイメージしたカラフルな車両にも乗ってのんびりした旅を過ごすのもオススメ。



## ファーマーズマーケットあぐりへい屋



JA新はこだてが運営する、「見る・知る・選ぶ・味わう・伝える」をコンセプトとした地域密着の直売所。地元で採れた野菜等がその日のうちに届けられ、店内を彩る。また、フードコーナーでは地元産の農産物を使った、ここでしか味わうことができない道南の味覚を楽しむことができる。



## 葛登支岬灯台



茂辺地地区の葛登支岬に設置されている灯台。初点灯は明治18年(1885年)で、道内では4番目、道南では最も古く、100年以上にわたり津軽海峡を利用する船舶が安全に航行できるように点灯を続けてきた。また、灯台のレンズを回転させて点滅する仕組みは、全国でも唯一である。



## フノリ礁



フノリ増殖用に設置されたコンクリート礁で干潮時のみ現れる。茂辺地地区、当別地区合わせて約1,000基ある。摘み取る作業風景は他では見ることが出来ず、一見の価値あり。1~3月に手作業で摘み取ったフノリは、洗浄後乾燥させて「北斗海峡ふのり」という商品名で販売されている。



## 国指定史跡松前藩戸切地陣屋跡



箱館開港に伴い松前藩が築いた防衛拠点。自然地形と日本最初の西洋式星形城郭を組み合わせた丘城で、函館周辺の警備を担った。箱館戦争の際、主力を欠いた守備隊により自壊されたが、土塁や堀が今もこの。現在は北斗市を代表する桜の名所のひとつとなっている。



## 上磯奴



江戸時代の参勤交代が原型といわれ北斗市指定無形民俗文化財である。衣装は半纏(はんでん)、手甲、脚絆、黒足袋、腰巾着、化粧前掛けを身につけ、草鞋を履き、腰に奴刀を差す。3m超す長柄の他に七つ道具を配し総勢30余名、約100mにも及び重厚かつ豪華絢爛な行列。



## 厳律シトー会 燈台の聖母 トラピスト修道院



明治29年(1896年)に創立した日本で最初の厳律シトー会トラピスト修道院。修道院内では修道士たちが自給自足の生活を送っている。院内で作られているトラピストバターを使用したクッキーやソフトクリーム、またバター胎も人気。

茂辺地・石別地区もたくさんあるホキ



## 三木露風の詩碑



地元の有志などにより昭和46年(1971年)に建立。三木露風は大正9年(1920年)から4年間、トラピスト修道院の文学講師を務めた。代表作「赤とんぼ」の詩は大正10年(1921年)にトラピスト修道院近くの自宅の窓から「羊先に止まっている赤とんぼ」を見た際に、こみ上げてきた幼い頃の情景を書いたものである。



## 北斗市宣伝隊長 ずーしーほっきー

北斗市の特産品である「ホッキ貝」とブランド米「ふっくらんこ」を使った「ホッキ寿司」をモチーフにしたキャラクター。観光名所、特産品等の「北斗市のいいところ」を全国に発信していきます！

表面のイラストマップには7体のずーしーほっきーがいるよ！



## 北斗市役所

〒049-0192 北海道北斗市中央1丁目3-10 TEL.0138-73-3111(代表)

## 一般社団法人 北斗市観光協会

〒041-1242 北海道北斗市市渡1丁目1-7 TEL.0138-77-5011

## 北斗市観光案内所

〒041-1242 北海道北斗市市渡1丁目1-1 TEL.0138-84-1147



北斗市役所 ホームページ



北斗市観光協会 ホームページ